

学生時代に身に付けておくべき事 第36弾

日本学生卓球連盟副会長 鈴木一雄

テーマ「世の中の動きを見る言葉を知ろう」

近年世界各国の経済の拡大で輸出入（物の移動）が増え、人々の人材交流も益々盛んになっています、同時に通信・情報（5G:高速大容量通信）網の発達により瞬時に多くの国々の様子も知る事が出来る様になりました、またそれ以上コンピューター技術の発達によりAI（人工知能）やソフトウェア開発、最近では、メタバース（現実と想像空間の融合等）も進んでおり近い将来に人間社会に幅広く活用されようとしています。

この様に人・物・情報・金融・経済の国際化が急激に進んでいる中の社会で学生諸君は社会に出て自身を成長させ生き伸びていかなければなりません！その為世界の動きを知り・理解し早くからその対応の準備する必要があります。

まずは知る事からです、そして新たに何を身につけなければならないかを考
やえる事が大事です。 では色々な事象を知る為には

- ①「世界のニュースに多く出てくる言葉」に注目しどんな事になるか考える
- ②新聞紙上によく出る言葉と解説を理解する
- ③政治・経済に関する著名人の本を読み参考にする
- ④情報端末（パソコン・スマホ・交流サイド等）を利用し多くの情報を収集

つまり政治・経済・一般社会で起こっている事象・情報で世界の動きと先行きをいち早くキャッチし対応を考える習慣を身に付けるべきではないでしょうか。

参考迄に、ほんの一部ですが以下の注目される代表的な言葉を挙げました

- 1) SDGs (サステイナブル) →地球環境を守る為に新しい考えを生活に取り入れ世界各国や日本でも「持続可能な開発目標」で国・企業も主に二酸化炭素の排出削減の対応をしています。電気自動車拡大もその一環です
- 2) カーボンニュートラル →地球温暖化の原因になっている二酸化炭素 (CO₂) の上昇抑制していく概念、エネルギー（石油・原子力・風力）に影響
- 3) デジタルトランスフォーメーション (DX) →インターネットの浸透が人々の生活を多方面でより良い方向に変化させる事、最新のデジタル技術駆使日本では政府もデジタル庁設立、企業も積極的にデジタル化の推進へ 以上